

公立大学法人公立はこだて未来大学と日本アイ・ビー・エム株式会社が 包括的な連携協定を締結



写真左: 中島秀之 本学理事長・学長

写真右: 久世和資 日本アイ・ビー・エム株式会社執行役員 開発製造担当

公立大学法人公立はこだて未来大学と日本アイ・ビー・エム株式会社は、我が国の ICT 分野における研究・技術の向上や人材育成に資することを目的として、平成 22 (2010) 年 2 月 17 日、組織間の提携と協力の推進に関する包括的な協定を締結いたしました。

当日は、日本アイ・ビー・エム株式会社より、久世和資 執行役員 開発製造担当、加茂義哉 公共事業官公庁事業部 プロジェクト担当部長の両氏が本学を訪れ、中島秀之 本学理事長・学長と調印式を行いました。

【背景と目的】

近年、産学間の組織的な連携を通して、各分野における研究・技術の向上や人材の育成を推進する例が増えています。こうした状況を背景として、公立大学法人公立はこだて未来大学と日本アイ・ビー・エム株式会社は、我が国の ICT 分野における研究・技術の向上や人材育成に資することを目的として、組織間の提携と協力の推進に関する包括的な協定を締結することとなりました。

本協定が掲げる主たる目的としては、両者の連携協力の推進により社会における実用につながる学術研究の振興を図り、

- ・研究成果による社会への貢献に資する
- ・研究者の育成に資する

ことがあげられます。

【今後の展開について】

日本アイ・ビー・エムは、新たなコーポレートビジョン「スマーター・プラネット：地球を、より賢く、よりスマートに」を旗印に事業を展開するとともに、日本を含む世界各国各地域において大学連携事業を展開し、未来の都市、未来の社会を構想するプロジェクトを推進しています。

(→参照：<http://www-06.ibm.com/software/jp/academic/ur/>)

公立はこだて未来大学は、地域に立脚した情報系の大学として、これまで函館市を中心に産学官民の連携によって、地域の交通システムや病院医療システムなどについての研究・教育活動、地域振興活動を推進してきました。また、先端的な情報分野での研究活動において、国内の大手企業とも、多くの産学連携を行ってきています。

両者はこうした活動を通じた互いの蓄積をベースに、未来のより豊かな ICT 社会を実現するための具体的な事業について、今後、積極的な意見交換等を行う中で個別に協議を進め、その内容を決定してまいります。

現時点で想定されるものとして、ICT 技術の活用による高齢者や子どもなどが安全・安心して暮らせる人にやさしい街づくり、効率的な社会サービス基盤インフラの提供による環境にやさしい街づくりなどがあげられます。

本協定は、こうした今後の具体的な活動に先立って、両者が連携協力についての包括的な協定を取り結ぶものです。

本件のお問い合わせ先
公立大学法人 公立はこだて未来大学 共同研究センター
Eメール：center-ml@fun.ac.jp 電話 0138-34-6571(ダイヤルイン)